

新春恒例の長島町消防出初式が1月13日、長島町鷹巣運動場で開催され、町民の生命と財産を守る消防団員や東・長島両分遣所職員など約400人が参加しました。

当日は、長島中学校吹奏楽部の生演奏による観閲行進に始まり、消防団員らが小隊訓練など日ごろの訓練の成果を披露。消防功労者と防火・防災ポスターの入賞者には表彰状が贈られました。

このほか、あおい幼稚園幼年消防クラブによる観閲や蔵之元少年消防クラブによる通常点検、長島中学校1年の荒川綾音さんによる防火の誓いが行われ、観客席からたくさん拍手が送られました。

式典終了後は、分団対抗で標的目掛けて放水し、日章旗が揚がるまでのタイムを競う放水競技が行われ、優勝は蔵之元分団、準優勝は獅子島分団、3位は川床分団という結果になりました。この後、会場では一斉放水も行われ、色鮮やかな放水のアーチが描かれました。

消防表彰者は、次のとおりです。

- ◆長島町長表彰
(永年勤続：10年)
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 上野 智博 | 野内 定博 | 博男 宏貴 |
| 瀨崎 賢治 | 宮内 信一 | 盛秋 隆 |
| 浦上 剛 | 内田 之 | 内田 信一 |
| 鈴木 一平 | 竹之根 敷 | |
| 米尾 定固 | | |
| 小屋 昭彦 | | |
- ◆長島町消防団長表彰
(優良団員：7年)
- | | |
|-------|-------|
| 村田 憲保 | 橋下 幸春 |
| 小濱 豊和 | 赤瀬 正 |
| 嶋 亮 | |

- ◆鹿児島県知事表彰
(勤続章：10年)
- | | |
|-------|-------|
| 江口 寿樹 | 中村 雅洋 |
|-------|-------|
- ◆消防協会出水支部表彰
(永年勤続：15年)
- | | |
|-------|-------|
| 藤川 真一 | 梅川 和文 |
| 山下 俊弘 | 尾崎 伸也 |
| 平田 淳造 | 町口 勇一 |
- ◆消防協会出水支部表彰
(永年勤続：10年)
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 上野 智博 | 野内 定博 | 博男 宏貴 |
| 瀨崎 賢治 | 宮内 信一 | 盛秋 隆 |
| 浦上 剛 | 内田 之 | 内田 信一 |
| 鈴木 一平 | 竹之根 敷 | |
| 米尾 定固 | | |
| 小屋 昭彦 | | |

- ◆長島町長感謝状贈呈
(永年勤続婦人：15年勤続)
- | | |
|--------|--------|
| 梅川 頼子 | 山下 みどり |
| 尾崎 真智子 | 町口 貴子 |
- ◆消防庁長官表彰
(功労章)
- | |
|-------|
| 諏訪 義則 |
|-------|
- (永年勤続功労章)
- | |
|-------|
| 町口 孝治 |
|-------|
- ◆鹿児島県消防協会総裁表彰
(功績章：20年)
- | | |
|--------|-------|
| 福山 大喜男 | 川長 正也 |
| | 鶴迫 伸信 |
| | 吉武 政雄 |
- (精績章)
- | | |
|-------|-------|
| 福守 浩一 | 川長 正也 |
| 築地 一隆 | 鶴迫 伸信 |
| 橋元 健吾 | 吉武 政雄 |
| 大田 真一 | |
| 原 真文 | |
| 西 蘭 | |

◆◆◆防火の誓い◆◆◆

「ありがとう、消防団」 長島中学校 一年 荒川 綾音

「唐隈地区で住宅火災発生、城川内分団は出動してください。」夜中三時にその防災無線が流れた瞬間、父は飛び起きて大急ぎで現場に向かいました。その日はとうとう夜まで家に帰りませんでした。

このように、夜中寝ているときでも、連絡があると出動していく父を、私は、「すごいな」と思っています。決して私にはできないと思えることだからです。父は、きつと慌てているでしょう。いつ、どこで発生するかわからない火事に立ち向かっているのだから。

私の父は、城川内分団の分団長です。そんな父が、私のあまり知らなかった消防団の活動について、三つのことを教えてくれました。

最初に、自然災害に対する対応です。今年、私の住む長島町では、六月に豪雨による災害が発生しました。災害が発生すると、被害の状況を最初に行くのも消防団の仕事で、もし、人や家などに被害があった場合は、すぐに救助や応急処置をするそうです。

二番目に、火災の消火についてです。消火活動のスタートは、ホースをまっすぐきれいに延ばすことだそうです。一箇所でも曲がったりしていたら、ホースが届かなくなり、水が通りにくくなって、迅速な消火活動が出来なくなります。そのため、父は分団員に大声で指示を出すそうです。

三つ目は、操法大会、出初式などの消防団の行事についてです。今年の操法大会で城川内分団は、総合の部で二年連続の優勝という結果でした。すごいなあと同時に、一生懸命練習していたので、ほっとしました。

また、城川内分団は、毎年、町の出初式が終わった後、地元の城川内川で「だいたい落とし」を行ないます。かごに入っただいたい（みかん）を放水で落とす競技です。だいたいが一個落ちると、「オオッ」という大きな声が上がります。私は、「あと何個落とせるのかな」と、ワクワクした気持ちになります。逆に、全く落とせないと、「がんばれ、がんばれ」という声が上がります。私も、「がんばれ、あとちょっと」と応援します。だいたいが落とせば、城川内地区の一年の始まりを告げる行事となっています。

消防団員は、いつ発生するか分からない火事や災害という恐ろしさと戦っています。また、仕事の合間をぬっての訓練や消防車の点検などを行っています。私たちは、決して火事を起こさないことで消防団に協力することができると思っています。

消防団に「ありがとう」の感謝の意味を込めて防火防災に努めていきましょ